※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書）						
副教材等	くらしのペン習字　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では、更に様々なことを学びながら深めてゆきましょう。
書写の復習から入りますが様々な書体を学び、体験し、自分らしい文字で作品を制作することで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を抱くとともに、感性を高め書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。
① 書や書の文化に関心を持ち、書に関する諸活動を行うための知識や技能を習得する。
② 創意工夫を生かした書表現をするための思考力、判断力を身につける。
③ 実際に作品制作を行うにあたり、意欲的、計画的に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書や書の文化に関心を持ち、書に関する諸活動を行うための知識や技能を習得する。	創意工夫を生かした書表現をするための思考力、判断力を身につける。	実際に作品制作を行うにあたり、意欲的、計画的に取り組む。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道 ・書写作品制作	a:基本的な用筆法を習得しているか b:作品を観察する能力はどのくらいあるか c:姿勢や執筆法の基本を理解しているか	提出作品	提出作品	授業中の練習状態と提出作品

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書	・古典作品の臨書 ・	a:技法の習得 b:用筆法には工夫がみられるか c:制作に向けて主体的に活動できているか	提出作品 ワークシート	提出作品 ワークシート	授業中の練習状態と提出作品
		・楷書、行書の学習	a:技法を理解し習得できているか b:古典の背景について理解しているか c:代表的な古典作品の良さを感じられたか	提出作品 ワークシート	提出作品	提出作品
		作品制作(半切三分の一)	a:習得した技法を使えたか b:文字と余白のバランスはとれたか c:イメージどおりに書きあげられたか	提出作品	提出作品	提出作品
後期	漢字の書	・草書、隷書、篆書の学習 作品制作	a:技法の習得はできているか b:用筆法を正しく理解できているか c:表現に工夫をして制作できたか	提出作品 ワークシート	提出作品	授業中の練習状態と提出作品
	姓名印	・自分の名前調べ 四分印で姓名印の制作	a:篆書を理解し、関心を持てたか b:篆書における分間布白を理解し表現に工夫できたか c:石に刻した表現の美しさに味わえたか	提出作品	提出作品	提出作品と授業中の練習状態
	仮名、漢字仮名交じり書	・仮名の学習 ・漢字仮名交じりの書	a:仮名の用筆法を理解しているか b:語句、文字の選定に創作活動についての意欲が感じられる c:作品の意図を明確にするための技能を身につけようと努めている	提出作品 ワークシート	提出作品 ワークシート	提出作品と授業中の練習状態
	作 色紙・短冊・カレンダー制	・色紙作品 文字調べ、草稿作成 ・短冊作品 古典、現代文いずれか ・カレンダー作品 自由創作で制作	a:語句、文字、技法など使う素材をよく知って理解している b:作品の意図を明確に表現するための技能が身についている c:創作活動についての意欲が感じられる	提出作品 レポート	提出作品 レポート	練習状態 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度